

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生、推薦入試
外国語	
科目名	日本語

I 次の文章を読み、設問に答えよ。解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるように記すこと。

世界の食文化は多種多様で①一括して述べることは難しい。日本、中国料理を始めとするアジア諸国、ヨーロッパ、ロシア、オリエント、ポリネシア、南北アメリカ、そして、アフリカの食文化がそれぞれ独特の味覚をくりひろげている。とりわけ、スパイスに関しては、スパイスをめぐる戦争が起きるほど世界中で交易の中心となってきた歴史がある。

昨今は世界中で日本料理がブームになっている。とくに健康に良く、見栄えも味も繊細であるところが人気を呼んでいるのだ。流通網が発達したおかげで今でこそこのように世界中で最も②贅沢で、最も豊かで、最も健康的だといわれる食生活を営んではいるが、栄養面から見たらはどうだろうか。朝鮮、中国、東南アジアでは肉を食べるが、日本では肉、とくに家畜の肉は避けていた。日本で肉食文化が発達しなかったのを仏教の影響として片づけることが多いが大乗仏教、小乗仏教にかかわらず、いわゆる仏教国と称される近隣諸国もそれなりの肉食文化を持っているわけだからこれは日本の食文化の特色といわざるを得ない。そしてまた、それは世界の食文化の中では少数派に属する要素でもある。

一方、③沖縄は長い間、日本列島の端の端に位置し、その文化も異端、異色と位置づけられてきた。しかし、アジアや環太平洋を広く見渡した地図上に琉球列島を置くと、それは地図の中心であり、文化が交差する地点であることが明らかになる。沖縄は古い時代から、四方の文化を程よく吸収し、独自の文化を築き上げてきた。食文化についても例外ではない。世界、とりわけアジアの食文化を考えると、沖縄の食は日本本土とは異なり多数派に属することが容易に見えてくる。

十数年前まで沖縄の食文化は長寿日本一を支える重要な要因として高い評価を得てきた。残念なことに今では男性は一位の座を他県に譲り渡してしまった。それは、アメリカの食文化が一気に流れ込んだ戦後の沖縄の食文化、とりわけそれを当たり前の「食」として受け入れて幼年期から過ごしてきた戦後世代に悪影響を及ぼしてしまったことに④起因する。今もって沖縄が長寿県であるというイメージを保っているのは戦前の世代が支えているイメージに過ぎない。まことに残念なことである。そこで、まずは戦前までの沖縄の食を振り返ることによって沖縄が作り上げてきた伝統的食文化について考えてみたい。

かつての沖縄の食事の特徴は何よりも塩分の摂り方が少ないことにあった。また、肉、魚をよく食べることにより、良質のたんぱく質を⑤摂取していたことなども長寿県であったことの主な理由として挙げられる。

沖縄では、匂いや味に個性の強い野菜を常食にしてきた。よもぎ（フーチバー）、にがな（ソージャナ）、水前寺菜（ハンダマ）などである。にがうり（ゴーヤー）、へちま（ナーベラー）もよく食べられている。

（外間守善『沖縄の食文化』）

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

---

問1. 二重線部㊸から㊸の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

問2. 日本の食文化における肉の位置づけについて、問題文に即して記せ。

問3. 沖縄の食文化と長寿の関係について、問題文に即して記せ。

問4. 東アジアの食文化について、問題文に書かれていることを踏まえたうえで、あなたの考えを述べよ。引用文は「」に入れて示し、「東アジア・食文化・日本・沖縄・肉」という語句を必ず使い、300字以上400字以内で記せ。300字に満たないものは0点とする。

Ⅱ 次の文章を読み、設問に答えよ。解答は字数等の指定がある場合を除き、解答欄に収まるように記すこと。

一九六四年（昭和三十九年）に、私ははじめて古代から現在に至る日本文学史を書く計画を思いついた。根本的には、今まで日本文学の講義の中にきまって入れていた手引きを単に書き写せばいいと思っていた。私が特に賞賛している作品については多く論じ、興味を引かない部分は勝手にとばしてもよかろうと考えた。しかし、そのうちにだんだん、

①このやり方は適当でないと思いはじめた。

英語で書かれた日本文学史といえば、アストンが一八九九年（明治三十二年）に発表したものが一冊あるだけで、私の学生たちもいまだにこの古くさくて不正確な本を参考に行っている始末である。私の考えたような文学史では、アストンの草分けの仕事にさえ、とって代るだけの体系を備えられないだろう。一時は日本人の学者によって書かれた文学史の翻訳を考えてみたが、たいていものは、西洋の読者に欠けている日本の知識を前提としているか、でなければ主として、本と出版社名の②羅列だけで、個人的な批評は含まれていなかった。私は確かに日本文学史のあらゆる時代に③通暁しているわけではないけれど、④とうとう自分の本を書かなければならないという結論に達した。

しかし、これが私の最も重要な仕事になりそうだとということがわかってはいても、くり返しまき返し誘惑のとりこになり、文学史に専心するかわりに“一体み”しては他のものを書いた。たとえば、金子弘氏による⑤文楽の写真集にたいへん感心して、それにつける文章を書くことを引受けたり、これに続いて能についても同じような本を書くことになった。私がいままで手がけたすべての計画のように、これらの本もはるかに予想以上の時間を要した。また「竹取物語」「⑥徒然草」「忠臣蔵」の翻訳もしたし、私の学生たちが訳した謡曲集の一巻を編集もした。こうして、できるだけ多くの日本文学を世に出したいという熱望のために、自分の時間とエネルギーとの限界を無視してしまった。

ところで私はコロンビア大学の⑦同僚には本当に恵まれている。彼らは大学管理上の責任をすべて肩代りしてくれて、私が自分の研究に没頭するに任せてくれる。私は特に、年ごとに親しくなるアイヴァン・モリス氏に感謝している。彼の「枕草子」の訳と、私の「徒然草」の訳とは、一九六七年の同月同日に発行され、おたがいに献呈し合っている。私の最も古くからの友人でコロンビア大学副学長のW・T・ド・バリー氏も、その着実さと忠実さで何度も私を不幸から救ってくれた。

(ドナルド・キーン、篠田一士訳『日本との出会い』)

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

---

**問 1.** 二重線部㊸から㊸の漢字の読みをそれぞれひらがなで記せ。

**問 2.** 傍線部①「このやり方」とは日本文学史をどのように書くやり方か。問題文に即して説明せよ。

**問 3.** 傍線部②「とうとう自分の本を書かなければならないという結論に達した」について、ドナルド・キーン氏がそのように考えた理由は何か。問題文に即して説明せよ。

**問 4.** 外国人が日本文学を研究する際、困難な点はどこにあるか。問題文に書かれていることを踏まえたうえで、あなたの考えを述べよ。引用文は「」に入れて示し、「外国人、日本文学、ドナルド・キーン、知識、エネルギー」という語句を必ず用い、300字以上400字以内で記せ。300字に満たないものは0点とする。









入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	
入試方式	一般・外国人留学生入学試験
科目名	日本語
試験実施日	2025年2月14日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

外国語の試験で日本語を選択できるのは「愛知大学大学院 学生募集要項」で「外国語試験の特例」に記されている場合である。実際の受験生は中国人留学生が大部分である。外国人も修士論文は日本語で執筆するので、日本語の運用能力が高いことが望ましい。その運用能力を測る問題を出題している。以上は大問Ⅰ・Ⅱともに共通している。

Ⅰ 食文化、特に沖縄の食文化に関する文章である。

問1. 漢字を日本語で正確に読めるか否かを問う問題である。

〔解答〕 ㉑いっかつ ㉒ぜいたく ㉓おきなわ ㉔きいん ㉕せっしゅ

問2. 〔解答例と出題意図〕問題文中の「朝鮮、中国、東南アジアでは肉を食べるが、日本では肉、とくに家畜の肉は避けていた。日本で肉食文化が発達しなかったのを仏教の影響として片づけることが多いが大乗仏教、小乗仏教にかかわらず、いわゆる仏教国と称される近隣諸国もそれなりの肉食文化を持っているわけだからこれは日本の食文化の特色といわざるを得ない。そしてまた、それは世界の食文化の中では少数派に属する要素でもある。」から適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問3. 〔解答例と出題意図〕問題文中の「かつての沖縄の食事の特徴は何よりも塩分の摂り方が少ないことにあった。また、肉、魚をよく食べることにより、良質のたんぱく質を摂取していたことなども長寿県であったことの主な理由として挙げられる。」から適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問4. 〔出題意図〕小論文に相当する問題である。設問に対して適切に答えた内容が求められる。以下の点も採点のポイントである。日本語として意味の通る文章であるのか。日本の常用漢字を正しく記しているのか。指定された語句を用いているのか。字数を守っているのか。

Ⅱ 問題文はドナルド・キーン氏が日本文学史を執筆した際の体験談である。

問1. 漢字を日本語で正確に読めるか否かを問う問題である。

〔解答〕 ㉑られつ ㉒つうぎょう ㉓ぶんらく ㉔つれづれぐさ ㉕どうりょう

問2. 〔解答例と出題意図〕日本文学史を書く時に、筆者は次のように考えた。「根本的には、今まで日本文学の講義の中にきまって入れていた手引きを単に書き写せばいいと思っていた。私が特に賞賛している作品については多く論じ、興味を引かない部分は勝手にとばしてもよかろうと考えた。」以上の「 」内の文章は問題文からの引

用である。これらの文章から適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問3. [解答例と出題意図] 傍線部②の文を含む段落から適宜引用して、日本語として意味の通る文章を書いてほしい。なお、引用する時は引用文を「 」に入れて示す必要がある。

問4. [出題意図] 小論文に相当する問題である。設問に対して適切に答えた内容が望まれる。以下の点も採点のポイントである。日本語として意味の通る文章であるのか。日本の常用漢字を正しく記しているのか。指定された語句を用いているのか。字数を守っているのか。

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生、推薦入試
外国語	
科目名	英語

著作権上の都合により掲載しておりません。

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国史学

※問題は二つあります。問1と問2の両方とも解答しなさい。

問1 中国史の時代区分における「中世」及び「近世」の概念について説明しなさい。

問2 次の①～⑩について全て説明しなさい。

- ① 倭寇
- ② 胥吏
- ③ 『宋会要輯稿』
- ④ 梁庚堯
- ⑤ 朱子学
- ⑥ 市舶司
- ⑦ 斯波義信
- ⑧ 食貨志
- ⑨ 『名公書判清明集』
- ⑩ 宋銭

入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	<span style="border: 1px solid black;">修士課程</span> / 博士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	修士課程
入試方式	一般・留学生入試
科目名	中国史学
試験実施日	2025年2月14日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

**【出題意図】**

日本の大学院修士課程において中国史研究をおこなうにあたって、受験者が学部卒業時において、中国史に関する最低限の基礎的知識を有しているかどうかを問い、また、面接試験との併用で研究者としての資質をはかるという意図のもと出題した。

**【解答例（採点時の観点）】**

問1は、歴史学研究における最終目的の一つともされる時代区分についての設問である。中華人民共和国における中国史の時代区分と日本における中国史の時代区分が大きく異なっていることを踏まえたうえで、日本における時代区分論争を正確に理解できているかが採点での規準となる。

問2は、中国史の基礎知識を問う問題である。受験者の研究テーマをある程度考慮しつつ（時代と分野）、今後大学院で研究を進めていく上で、基本的歴史事項、基本的史料、重要研究者について正確な知識を有しているかを問う問題である。全て基本的な事柄なので、歴史事項であれば該当する時代とその内容、特質、史料であればその史料の内容と特色、記述方式、研究者であれば研究分野と主な業績についてもれなく記述できているかが採点の基準となる。

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国国際関係

以下の3つの設問に答えよ。回答する順番は問わないが、冒頭に設問番号を明記すること。なお、書ききれない場合は裏面に書いてもかまわない。

Q.1 2025年は、第二次世界大戦が終結して80周年にあたる。「戦後国際秩序」とはいかなるものか、イデオロギー・価値に関する視点から、その構造と変化について論じなさい。

Q.2 著名な国際政治学者であるジョン・アイケンベリー(G. John Ikenberry)によれば、2000年代半ば以降には、「権威主義的立憲体制」(the autocratic constitutional states)が増加している。こうした状況において重要な役割を果たす国を挙げ、その理由を論述しなさい。

Q.3 1955年のアジア・アフリカ会議は、中華人民共和国の対外関係にとって、どのような意味をもつか。具体的な事実を挙げ、その成果についても解説しなさい。

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国社会学

1. 中国政府が推し進めていた「国家新型都市化計画（2014～20年）」は2020年に政策目標を達成したが、依然として多くの問題を抱えている。そこで、中国は2022年7月に「第14次五カ年計画期新型都市化実施方案」を発表した。この文書には『国家新型都市化計画（2021-2035）』も含まれている。この実施方案の政策目標を説明した上で、中国の都市化の特徴や問題点及び改善策について、社会学的視点から分析しなさい。

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

---

2. 以下の用語について解説しなさい。

- ① 文化的再生産
- ② 階級と階層
- ③ 社会化

第2期入試問題	
修士課程	一般・外国人留学生
専門科目	
科目名	中国文学（古典・現代）

以下の設問に答えなさい。回答する順番は問わないが、冒頭に設問番号を明記すること。  
なお、必要に応じて裏面を使用してもよい。

1. 当代中国ニューメディア時代における文化、文学潮流を論じよ。（1000字程度）
2. 好きなネット文学作家を一人取り上げて、その文学作品の特徴を論じよ。（1000字程度）

入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	中国研究専攻
入試方式	一般・外国人留学生
科目名	中国文学（古典・現代）
試験実施日	2025年2月14日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

**【出題意図】**

出願者が研究対象とするテーマについて基礎知識を備えているかを確認するために、2つの設問を用意した。いずれも基本的な事柄について説明する形式とした。

**【解答例（採点時の観点）】**

問1は、当代中国ニューメディア時代における文化、文学潮流を説明するものである。近年、中国ニューメディア文化、文学の中でも、特にネット文学は一般市民をユーザーとする巨大な基盤を作り上げており、多くの作品が改編されて映画化、ドラマ化、ゲーム化され、新しい産業成長を生み出している。多様なジャンルがあるなかで、伝統文化を反映した「国潮」作品が若者の支持を集めている。またAIによる自動翻訳の発達で海外市場への進出に拍車をかけ、いまや中国のネット文学は世界的な文化現象になりつつある。上記のような説明ができているかが採点時の観点となる。

問2は、ネット文学作家を一人取り上げて、その文学作品の特徴を論述するものである。中国のネット文学作品は膨大な量にのぼるため、ここでは特定の作家、作品を示すことはしない。当代中国ニューメディア文化、文学を研究するのであれば、ネット文学は無視できないジャンルであり、ネット文学作品を読まずして当代中国ニューメディア文化、文学を研究できるはずはない。この設問においては、回答者のネット文学への関心度と、文学に対する考え方を理論的に説明できるかが採点時の観点となる。

修士課程	社会人特別入試
外国語	
科目名	現代中国語

**大問1** つぎのニュース記事（書面語）の下線部①～⑨を日本語に訳しなさい。

“加拿大出现呼吁消费者选择本国产品的热潮” NHK World Japan 記事 2025年2月3日より

①加拿大出现呼吁消费者选择本国产品的热潮

②在美国宣布对从加拿大进口的产品征收25%关税的情况下，加拿大出现了一股呼吁消费者选择本国产品而非美国产品的热潮。

加拿大总理特鲁多2月2日在社交媒体上发文称：“③现在到了选择加拿大产品的时候了。④请大家确认商品标签上的产地尽自己的一份力，尽量选择加拿大产品吧。”

⑤首都渥太华和最大城市多伦多所在地安大略省的省长福特2日在社交媒体上宣布：“安大略省从4日星期二开始将把美国产酒精类商品从批发产品目录中剔除。⑥省内餐厅和零售商将无法采购美国产酒精类商品。”

⑦西海岸不列颠哥伦比亚省的省长伊比1日在新闻发布会上指出：“⑧如果我们对美国不予反制，他们就会提出更多的要求。”他表示，⑨已经向省内有关部门发出指令，立即停止从美国作为共和党票仓的州采购酒精类商品。

社会人特別入試【現代中国語】修士課程

第2期実施分の「大問2」問題文は著作権上の都合により掲載しておりません。

入学年度および実施時期	2025年度 第2期
修士課程・博士課程の別	修士課程 / 博士課程
実施研究科	中国研究科
専攻・コース等	中国研究専攻
入試方式	社会人特別入試
科目名	現代中国語
試験実施日	2025年2月14日

解答又は解答例及び出題意図  
(試験問題自体を公開しない場合はその理由を示すこと)

**【出題意図】**

修士課程の中国語は、現代中国語（普通話）の新聞記事・評論文等の書面語、インタビュー記事・文学作品等の口語文を日本語訳する一題ずつの計二題を出題している。中国に関する様々な分野の課題で研究活動を行うためには、一定の中国語の能力を備えていることが必須であるのはいうまでもない。本研究科で書面語と口語文の日本語訳を科しているのは、前者については個別の研究テーマに関する先行研究等の学術論文や時事問題を報じる文章の読解力を確認することを意図しており、後者については、例えば中国語学であれば文法・語彙研究の一次資料を扱う能力の有無、文化人類学・民俗学研究であれば口語を駆使した調査能力の有無など、各研究分野における研究活動を行う語学力の基礎を備えているかどうかを見ることを意図している。ここ数年間の口語文の出典資料については著作権の関係で公開できないことから、以下に今年度の書面語からの出題について解説する。

今年度の書面語の出題は、NHK WORLD JAPANに掲載された2025年2月3日の記事“加拿大出現呼吁消费者选择本国产品的热潮”を用いた。同記事はアメリカの貿易政策に関するカナダの個別事例について書かれたもので、これを用いることで、受験生が一般的な社会問題、時事問題に関心を持っているか、一般常識の範囲である基本的な地理用語、経済用語を把握しているか、現代中国語の基本的な文法を理解しているか、同一語義の書面語と口語の対応関係を常識の範囲で理解しているか、等々を確認するものである。

**【解答例（採点時の観点）】**

以下、出題した記事に下線を付した①～⑨について採点時の観点を記す。本文中の“呼吁、选择、产品、宣布、进口、征收、关税、确认、标签、尽//力、尽量、所在地、社交媒体、餐厅、零售商、无法、采购、酒精、新闻发布会、指出、反制、提出、有关、指令、立即、作为、票仓”等の語句については完全にとは言わないものの、凡その意味を日本語で理解できる、或いは文脈から類推できる程度であってほしい。難解ではない各文を可能な限り正確に日本語訳しているか否かを基準として、各下線部において特に以下に記す諸点を重視した。なお、日本語訳については設問中に特に難解なものが無いことから訳例を省略する。

- ① 文法で最も基本的な主語“加拿大”＋動詞“出”＋目的語“热潮”の構造を理解しているか。“热潮”の連体修飾語の「誰に何をすることを呼びかけているか」の部分の構造を正確に捉えているか。最も初歩的な国名“加拿大”を把握しているか。
- ② “在～（的情况）下”。また、上記①と同様、後半部分の“加拿大”＋動詞“出”＋目的語“热潮”の構造を理解しているか。最も初歩的な国名“美国”を把握しているか。“情况”の連体修飾語の中の“对”と“从”の介詞句の構造を正しく捉えている

か。

- ③ 二つの“了”のはたらきを把握しているか。
- ④ 基本的な文法と語彙による文を理解した上で、さらに、方位詞“上”、量詞“份”のニュアンスを捉えているか。
- ⑤ 記事が対象としている国の主要都市名を把握しているか。地名、人名の同格を理解して適切に翻訳できているか。“省长福特”の長い連体修飾語の構造を理解しているか。
- ⑥ この文中での“将”の文法機能と意味を正しく理解しているか。
- ⑦ 地名・人名の音訳語以外に特に難解な点はないので、文全体を正確に翻訳できているか。動詞“指出”を自然な日本語で表現できるか。
- ⑧ “如果～就～”による複文の構造を正しく理解しているか。介詞“对”の対象、助動詞“会”が示す意味を正しく理解しているか。
- ⑨ 介詞“向”＋動詞＋目的語、“从”＋動詞＋目的語の構造を正しく理解しているか。

第2期入試問題	
修士課程	社会人特別入試
科目名	小論文

著作権上の都合により掲載しておりません。